

「神経筋疾患摂食嚥下状況スケールの開発」

についてのお知らせ

国立病院機構東埼玉病院では、標記の調査研究を行なっております。

1 実施目的について

進行性の神経筋疾患における摂食嚥下障害は病状の進行とともに出現し、全身状態の管理を行う上で非常に重要となっております。しかし、神経筋疾患における摂食嚥下障害の詳しい報告や評価方法が少ないのが現状です。

そこで、本研究は神経筋疾患に特異的な進行性の嚥下障害の推移を反映しうる摂食嚥下状況スケールを作成することを目的としています。

2 実施内容について

当院に外来通院中もしくは入院中にリハビリテーション科を受診した神経筋疾患（筋ジストロフィー症、筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、パーキンソン病）患者様を対象とし、診療録または患者本人・家族への問診の情報より現在の摂食状況を調査します。なお調査にあたりましては、患者さまの個人情報収集いたしません。

3 研究責任者

和田 彩子

（国立病院機構東埼玉病院 統括診療部 機能回復部門 リハビリテーション科医師）

4 研究期間

この研究の実施が許可された日から平成27年3月31日を研究期間とします。

5 個人情報およびプライバシーの保護について

この研究で調査対象とする報告書には、患者さまおよび報告者がわかるような個人情報は含まれておりませんので、この研究による個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。またこの研究で作成するデータファイルは、報告書と同様に管理いたします。この研究の成果は学術的な場でのみ公表します。

この研究についてご質問があるときは、上記の研究責任者までお問い合わせください。また、この研究の対象とならないことを希望される方は、上記の研究責任者へお申し出ください。